

# 図書館だより第2号

文責  
1-1 新名  
1-2 橋野  
1-6 鳥越

発行日  
30.6.26(火)

津山高校の図書館には非常に多くの本があります。ジャンルは小説、マンガ、郷土資料、自然科学、スポーツなど、多岐にわたります。

では、今最も津山高校生の間で人気がある本はどれか。調べました。あなたが借りた本はベストに入ってますか。

## 津高 ベスト貸出

抽出期間：今年度4月1日～5月31日  
利用者区分：高校1年次～高校3年次

### 第1位(同貸出冊数)

『はたらく細胞』清水菫著

『優しい死神の飼い方』知念実希人著

### 第3位(同貸出冊数)

『AI vs. 教科書が読めない子どもたち』新井紀子著

『A0・推薦入試は「志望理由書」が9割』川原洋孝著

『AX』伊坂幸太郎著

『じつはよく知らなかった経済のことがスッキリわかる本 不況対策から国際情勢まで！おもしろく教える経済塾』石川秀樹著

### 第7位(同貸出冊数)

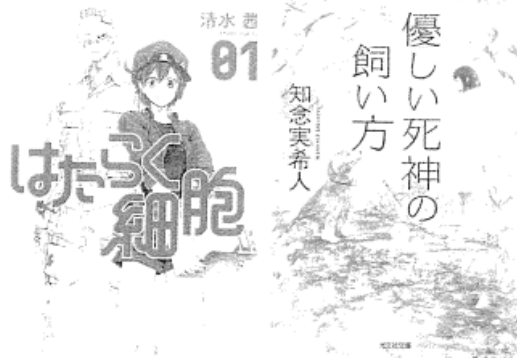
『ふたご』藤崎彩織著

『5分後に感動のラスト』エフリスト編

『英語にない日本語 日本語にない英語』ノーム・カツ著

『「コミュカ」アツ実践講座 気まずくならず会話が続く！』下平久美子著

『I Love Youの訳し方』宮部みゆき著



(新名)

この本であなたの人生変わります。



### 『コンビニ人間』

コンビニ人間 村田沙耶香

「普通」という言葉は、便利だ。詳細を伝えずとも、相手にイメージを委ねられる。しかし「普通」という言葉は、危険だ。その安心感から思考は停止させられる。主人公は『普通の人間』/『普通じゃない人間』という価値観を捨て、自らの本能に従い、決断を下した。それがどんなに歪んだものだったとしても、自らの意志で決めたことに意味があり、そこにこそ希望があるのだと信じたい。

「普通」とは何か、執拗までに問い続けてきた村田沙耶香の集大成。世間の常識に少しでも違和感を感じたことのある人に読んでほしい！



恩田陸

### 『蜜蜂と遠雷』

天から才能という「ギフト」を与えられた若きピアニスト達が、コンクールを通して人間的にも音楽的にも成長する物語。

「この世界は音楽に満ちている」それに気づく事がどれほど心豊かになるか、を教えてくれるまさに、「ギフト」な本！

オススメの本

読まなきゃ損!?

### 『ジャッチメント』



「復讐法」。現実にこんな法律があったとしたら。自分の大切な人が突然残酷な方法で命を奪われたとしたら。それを選択した遺族は犯人と同じ手法で、自らの手で刑を執行しなければならぬ。遺族の犯人への憎悪と、亡くした家族への愛情、苦渋の選択に胸が迫る。

「復讐」という方法で救われることがあるのかと真剣に考えてほしい大切な人が殺された時、あなたは「復讐法」を選びますか。

(橋野)

り備たに表を対画のこ めB 車イをU 海、トカ一

イシグロさんに  
英ナイト爵位  
【ロンドン共同】英政府は8日、叙勲名簿を発表し、ノーベル文学賞を昨年受賞した長崎出身の英国人作家カズオ・イシグロさんに英ナイト爵位が授与されることになった。文学界への貢献が評価され、今後は「サー」の称号使用が認められる。



英P A通信によると、イシグロさんは発表にコメントを寄せ「外国人の少年だった私を迎え入れ、育ててくれた国からの勲章に深く感動した」と強調。「世界が不安定なこの時代において、開かれた民主主義の伝統や、文学を含む素晴らしい文化を保つ英国を誇りに思う」と述べた。イシグロさんは父親の仕事の関係で5歳の時に渡英し、1980年代前半に英国籍を取得した。代表作「日の名残り」などで知られ、昨年12月、ノーベル文学賞を受賞した。

がをしたただけが水辺でほえていたという。当時は現場付近にいた体長約3・8歳のワニを捕獲して解剖した結果、マツキさんが襲われて死亡したことを確認したとしている。(ニューヨーク共同)

○カズオ・イシグロさんの作家活動(概料)

1981	活動開始
1982	処女作「わたしの遠い夏」で王立文学協会賞受賞
1986	第2作「浮世の画家」でラットブレット賞を受賞
1989	第3作「日の名残り」でブッカー賞を受賞
1995	第4作「わたされざる者」出版
2005	「わたしを離さないで」出版
2015	長編作品「忘れられた巨人」出版
2017	ノーベル文学賞受賞

○ナイト爵とは?

イギリスの叙勲制度において、叙勲者に与えられる、中世の騎士階級に由来した称号。主に文化・学術・芸能・スポーツ面で著しい功績があった者に授けられる。

日本で生まれた人が厳しい境遇の中でそのような栄誉も受けたことは、大変喜ばしいことであり、賞賛に値すると思う。



イギリスに住む悦子が娘の自殺という事態に遭遇し、自分の生きてきた道を回想する話。戦後の長崎を舞台にしたカズオ・イシグロのデビュー作。



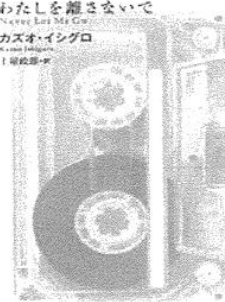
戦時中に名を馳せ尊敬を集めた画家の花後の話。人々が時代に合わせ変わっていく姿が押しつりなく描かれている。



執事の回顧を通じて物事の考え方や仕事観について考えさせられる作品。古き良きイギリスの空気感も味わうことができ。



世界的ピアニストである主人公は、コンサートのために訪れた町で住人たちから問題の解決を求められる。時間、空間、人間関係を全て歪めた、夢の中に迷いこんだような作品。



主人公、キャシーはある施設で暮らした奇妙な少女時代や卒業後を回想し、自分たちの秘密を紐解いていく。映画化、ドラマ化もされたベストセラー。



記憶と忘却をテーマにしたアーサー王物語が舞台の小説。物語は淡々と進んでいくが、最後には感動が押し寄せてくる。

(鳥越)